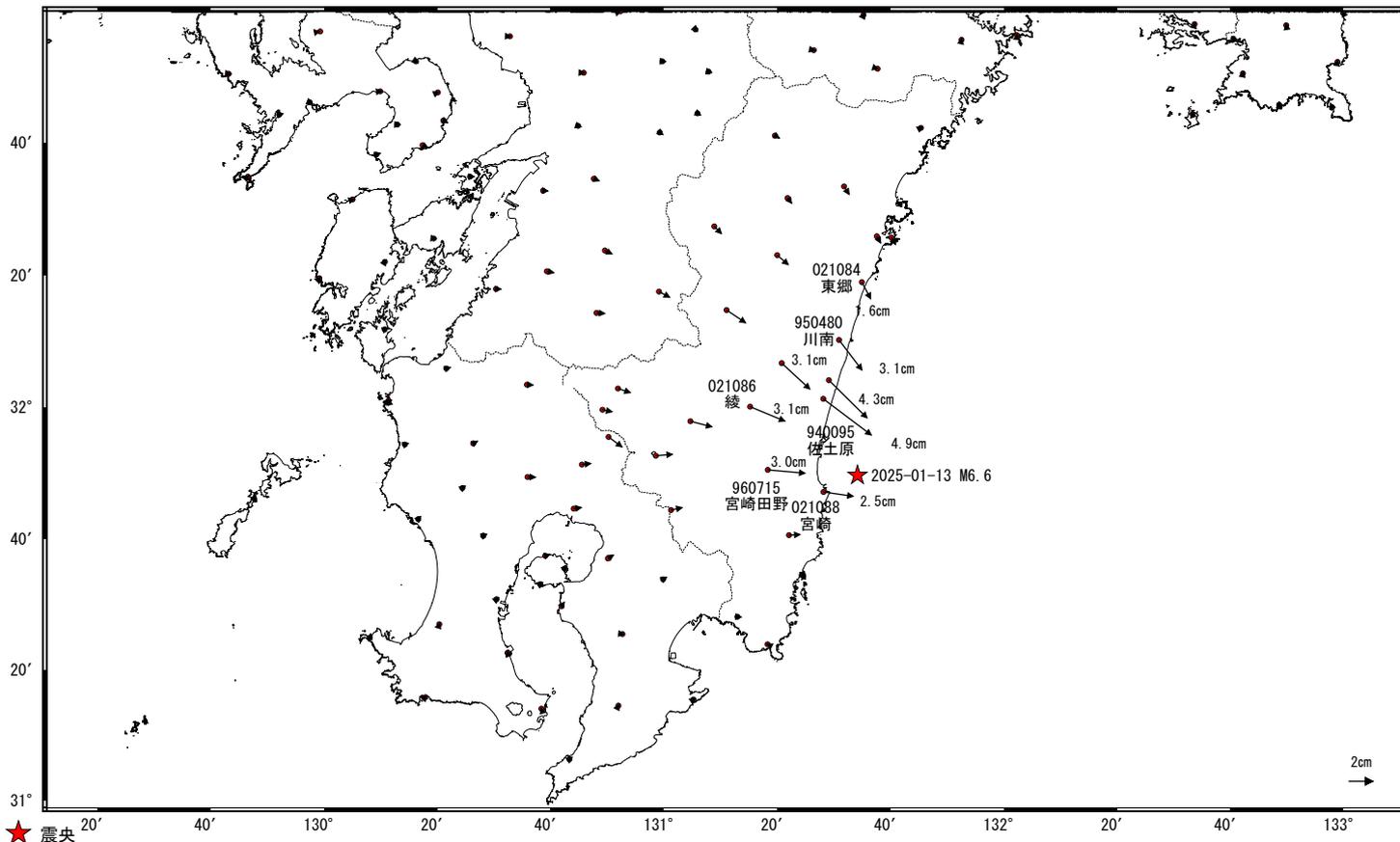


日向灘の地震(2025年1月13日 M6.6)前後の観測データ

この地震に伴い地殻変動が観測された。

地殻変動(水平)

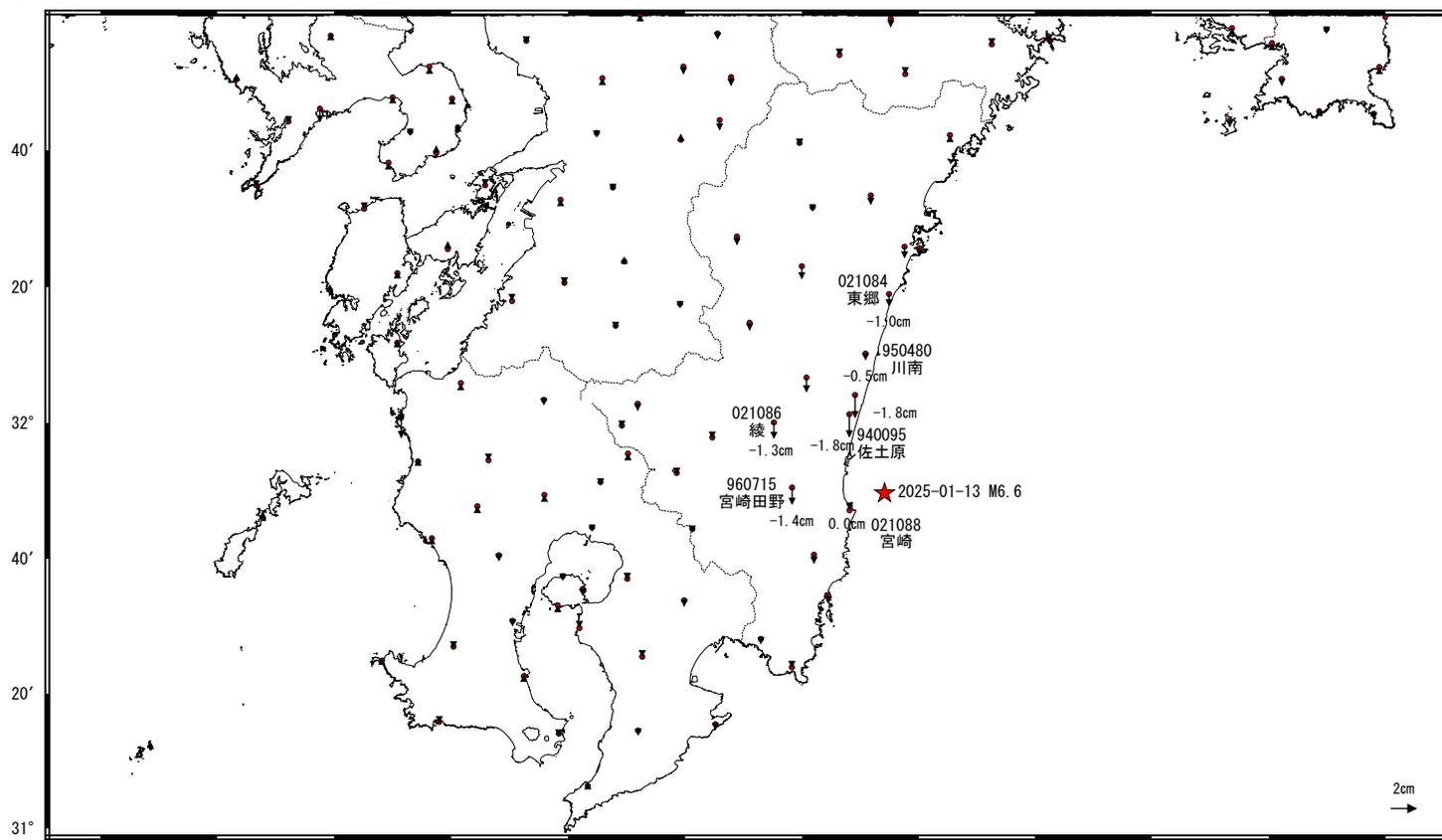
基準期間:2025-01-06~2025-01-12[F5:最終解]
比較期間:2025-01-14~2025-01-14[F5:最終解]



★ 震央
☆ 固定局:三隅(950388)(島根県)

地殻変動(上下)

基準期間:2025-01-06~2025-01-12[F5:最終解]
比較期間:2025-01-14~2025-01-14[F5:最終解]

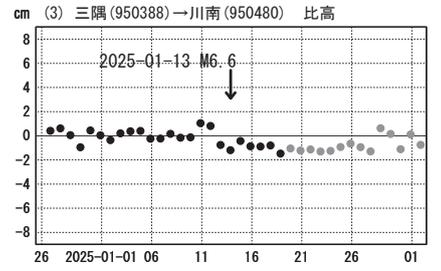
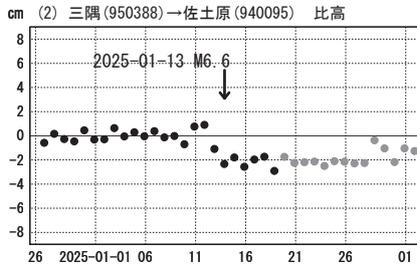
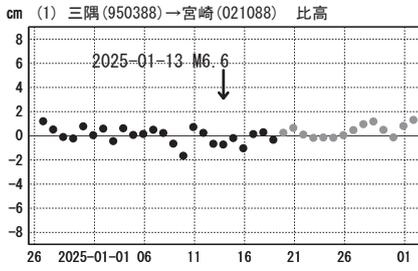
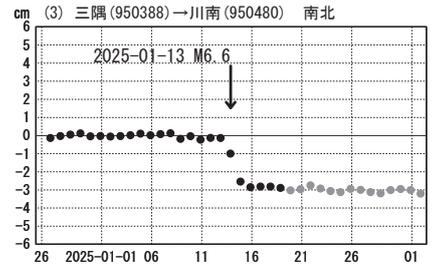
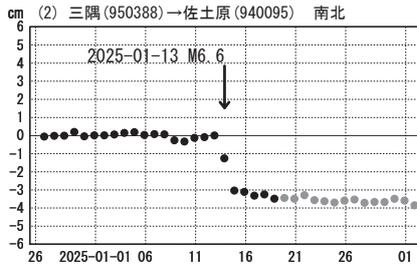
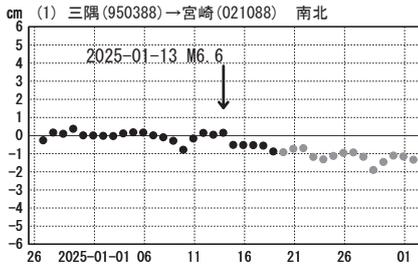
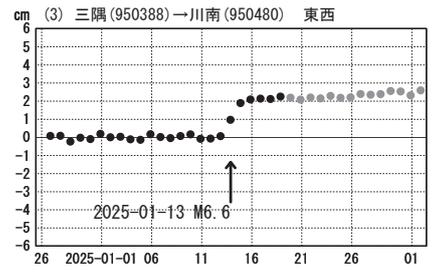
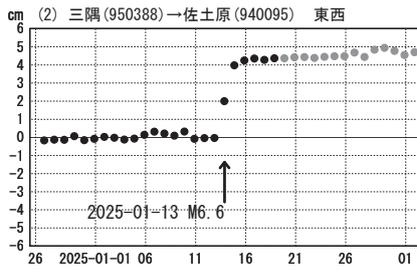
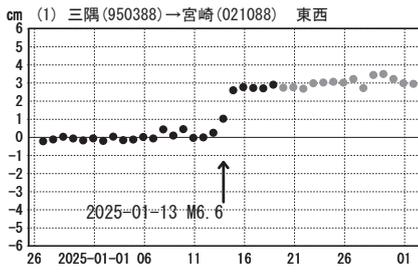


★ 震央
☆ 固定局:三隅(950388)(島根県)

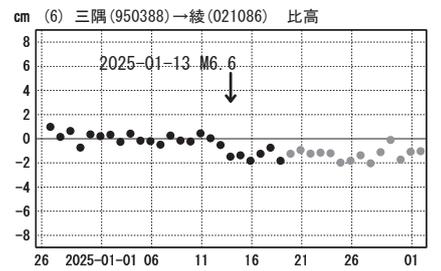
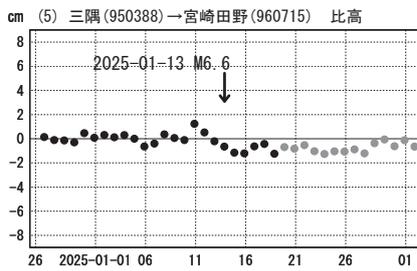
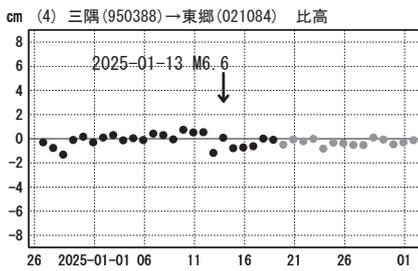
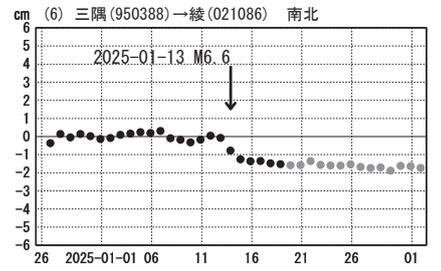
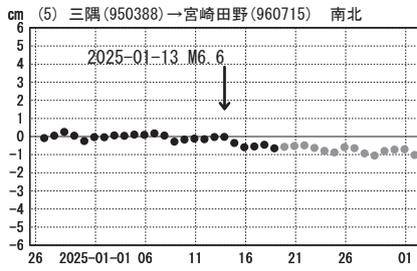
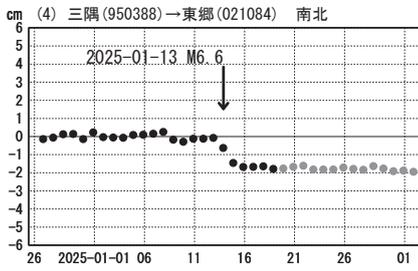
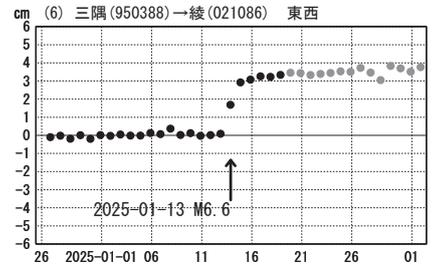
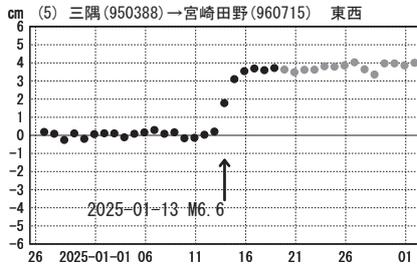
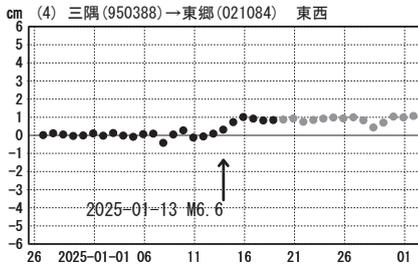
日向灘の地震(2025年1月13日 M6.6)前後の観測データ (暫定)

成分変化グラフ

期間: 2024-12-26~2025-02-01 JST



期間: 2024-12-26~2025-02-01 JST

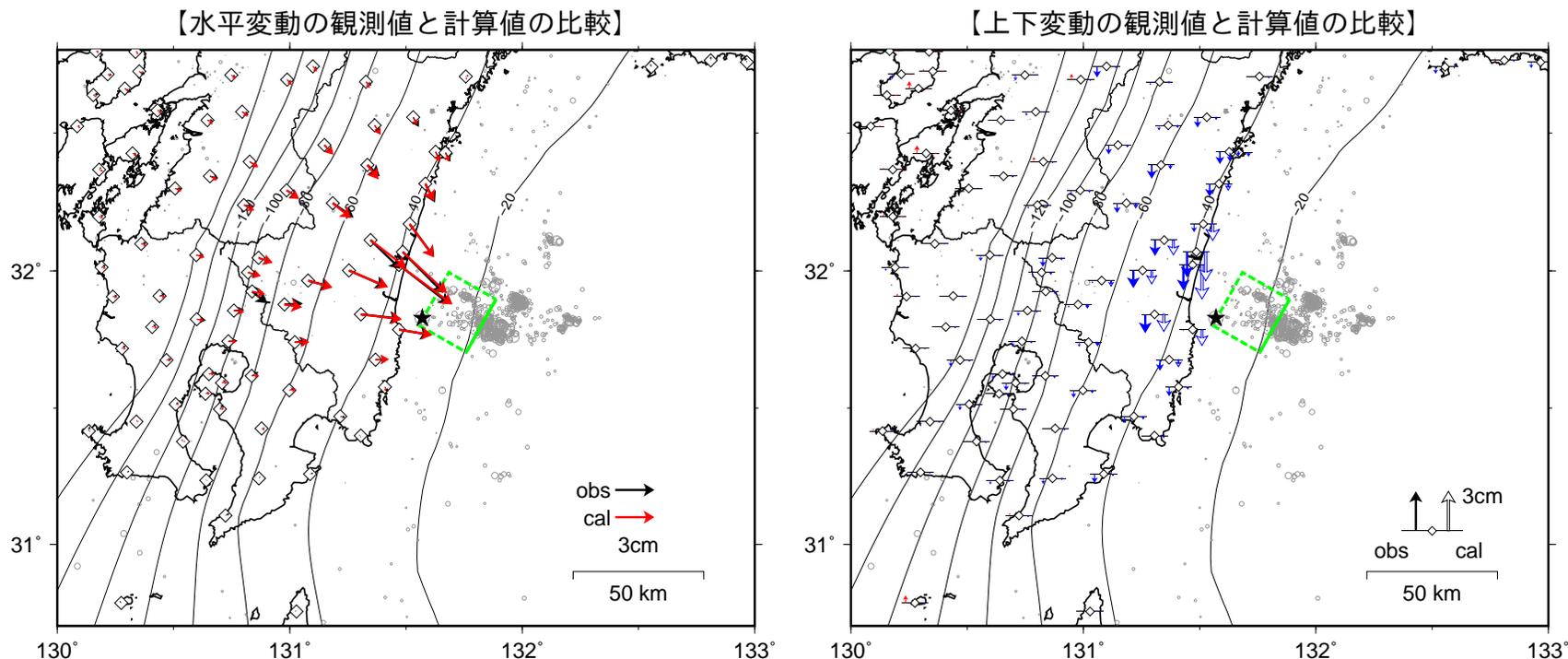


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

2025年1月13日 日向灘の地震の震源断層モデル（暫定）

基準期間：2025年1月06日～2025年1月12日 (R5解) JST

比較期間：2025年1月14日～2025年1月14日 (R5解) JST



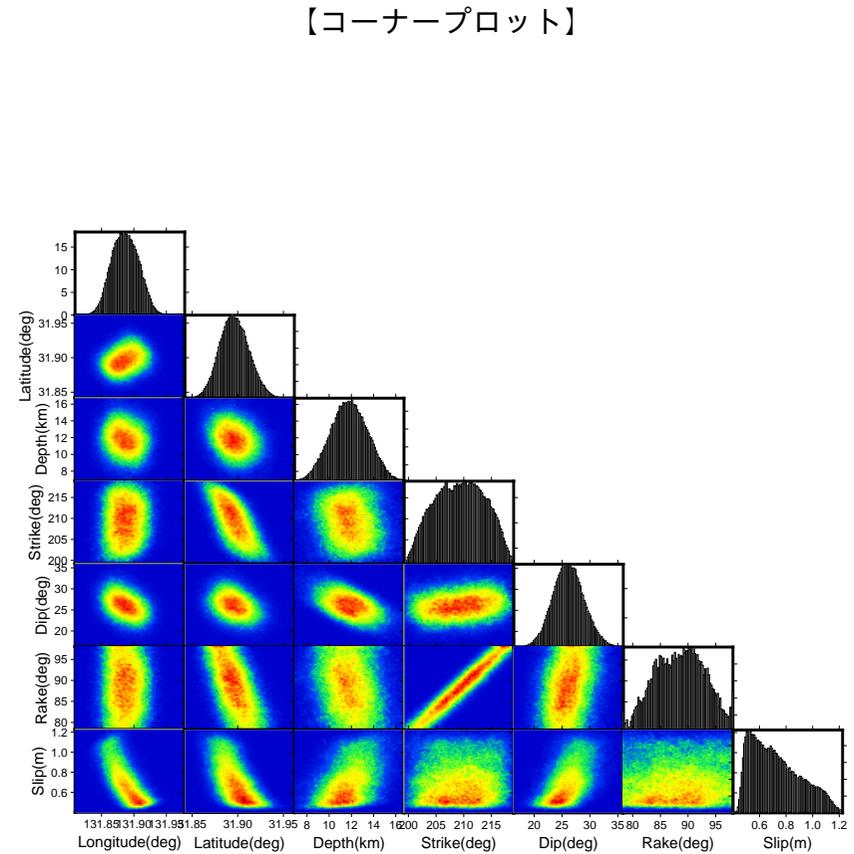
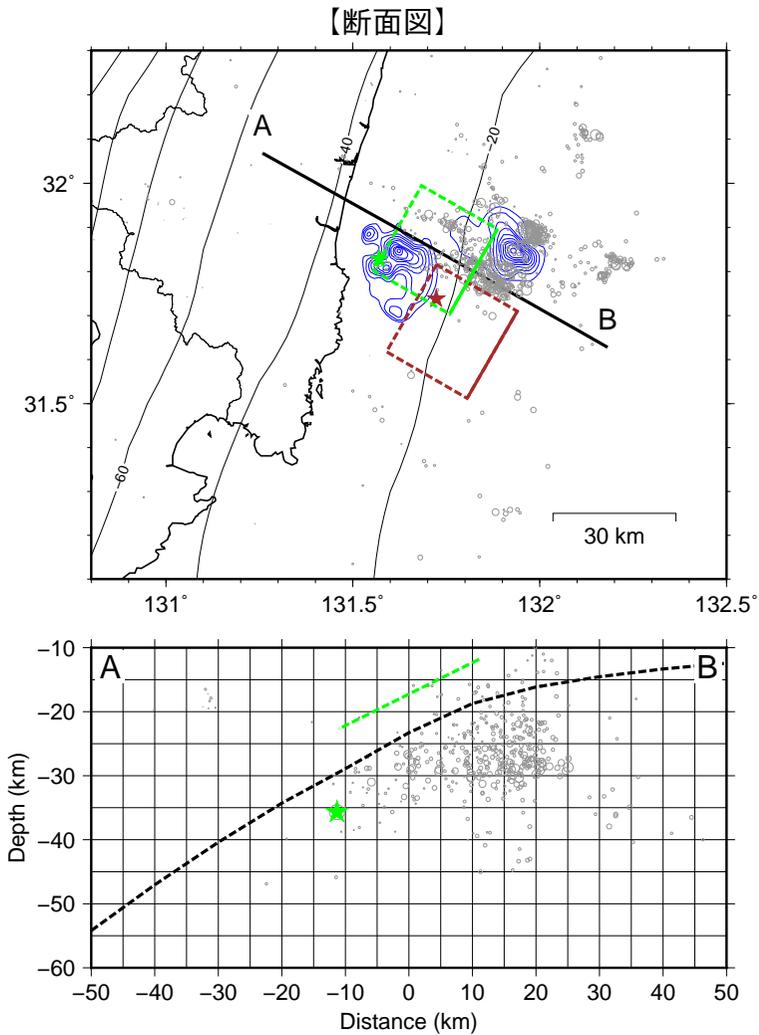
- ・ 黒色の星は1月13日のMj6.6の震央、灰色丸は震央分布（気象庁一元化震源（気象庁）を使用）、2025年1月13日21時19分～1月19日23時59分。
- ・ 黄緑色の矩形は震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ フィリピン海プレート境界面は、Hirose et al.(2008)を参照した。

【推定された震源断層パラメータ】

緯度	経度	上端深さ	長さ	幅	走向	傾斜	すべり角	すべり量	M_w
°	°	km	km	km	°	°	°	m	
31.897	131.887	11.8	24.6	24.6	209.3	26.2	88.3	0.73	6.75
(0.016)	(0.020)	(1.7)	(2.9)	(2.9)	(4.6)	(2.8)	(5.4)	(0.18)	(0.01)

- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ（MCMC）法を用いてモデルパラメータを推定。括弧内は誤差（ 1σ ）を示す。
- ・ 断層長さと同断層幅の比が1:1に近づくように拘束。
- ・ M_w の計算においては、剛性率を40GPaと仮定。

2025年1月13日 日向灘の地震の震源断層モデルの断面図と事後確率分布（暫定）

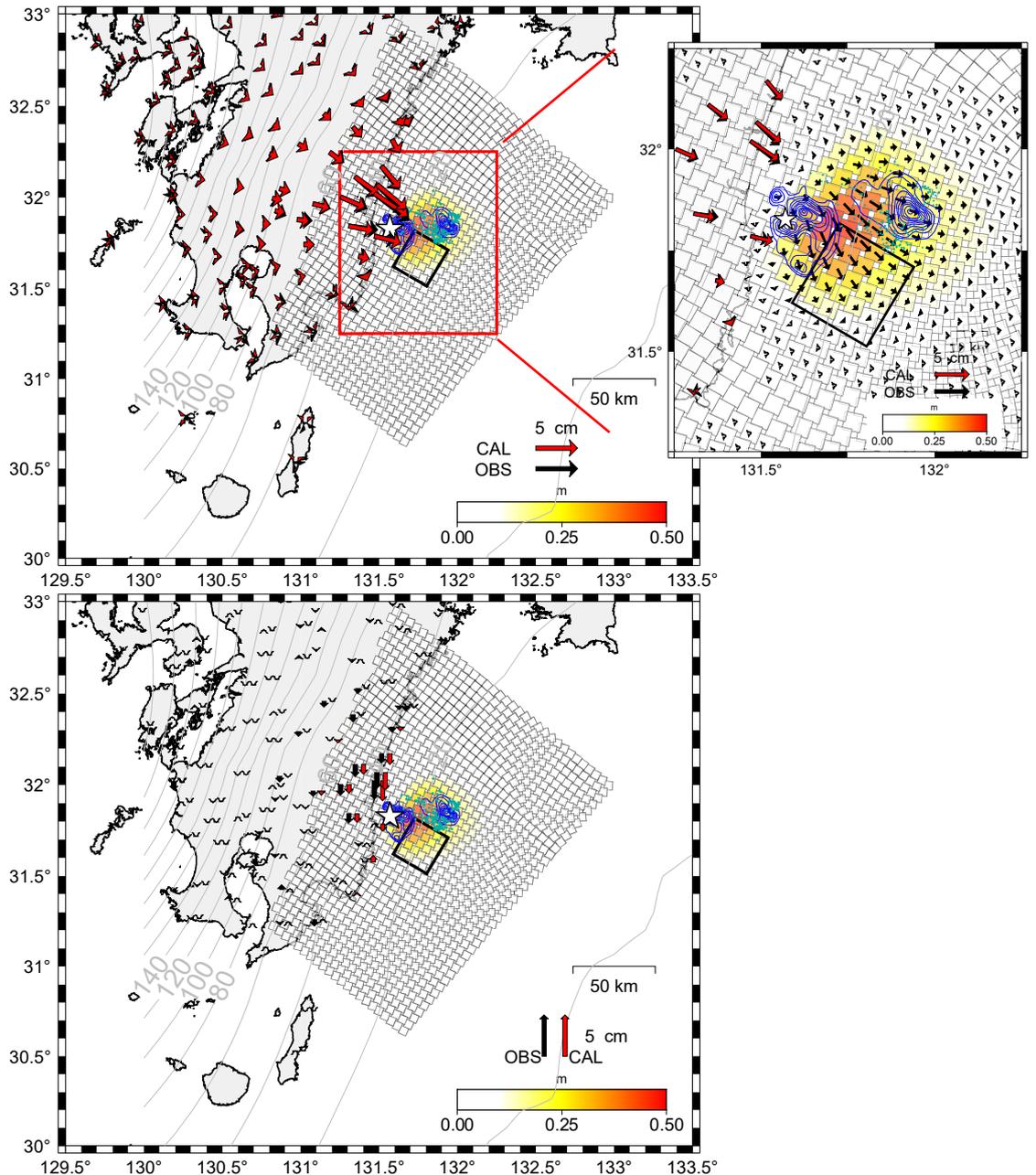


- ・ 灰色丸は震央分布（気象庁一元化自動（気象庁）を使用）、2025年1月13日21時19分～1月19日23時59分（JST）。
- ・ 黄緑色の星印と矩形は、震央と震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ 茶色の星印と矩形は、2024年8月8日の日向灘の地震の震央と震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ フィリピン海プレート境界面は、Hirose et al.(2008)を参照した。
- ・ 青コンターは、1996年10月と12月に発生した地震のすべり分布（Yagi et al. 1996）。

日向灘の地震（1月13日 M6.6）のすべり分布モデル（暫定）

2025年1月13日に発生した日向灘の地震について、電子基準点GNSS解析で得られた地殻変動をもとに、プレート境界面を小断層に分割したうえで地震時すべり分布を決定した。

- ・ 基準期間：2025年1月6日 00:00–2025年1月12日 23:59 JST（速報（R5）解）
- ・ 比較期間：2025年1月14日 00:00–2025年1月20日 23:59 JST（速報（R5）解）



- ・ 固定点：三隅

☆印は震央、緑点は震源分布（気象庁一元化震源：2025年1月13日 21時19分～1月14日 23時59分（JST））

- ・ プレート面（Hirose et al. 2008）を5kmx5kmの小断層に分割してすべり分布を推定.
- ・ 青コンターは、1996年10月と12月に発生した地震のすべり分布（Yagi et al. 1999）.
- ・ 黒枠は、2024年8月8日の地震の震源断層モデル.
- ・ 最大すべり量は約0.5mである.
- ・ M_w は6.93である。 M_w の計算においては、剛性率を40 GPaと仮定した.